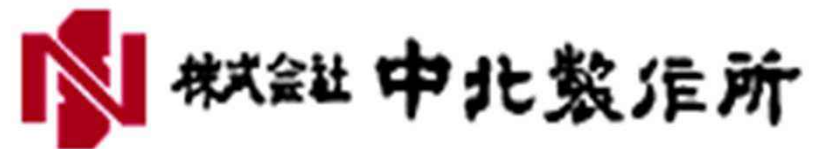




2020年5月期 決算説明会

東証2部 6496



<https://www.nakakita-s.co.jp>

2020年8月6日 大阪



- I . 会社概要
- II . 2020年5月期 実績
- III . 2021年5月期 見通し
- IV . 今後の展望
- V . コーポレートデータ



I . 会社概要



1. 会社概要・沿革

■会社概要

会社名：株式会社中北製作所
代表者：代表取締役社長 宮田 彰久
所在地：大阪府大東市
設立：1937年5月
資本金：1,150百万円
事業内容：自動調節弁・バタフライ弁・
遠隔操作装置製造・販売
従業員数：361名(2020年5月末現在)



■沿革

1930年 5月 初代社長 中北辨造が大阪市北区松ヶ枝町において自動調節弁の製造開始。
1937年 5月 大阪市北区今井町に移転し、株式会社中北製作所設立。
1939年 6月 大阪市城東区蒲生町に移転。
1960年11月 工場拡張のため大東市に工場建設(第1期工事)
1970年 5月 大東新工場完成、生産組織を新工場に集約する。
1971年12月 株式を大阪証券取引所市場第二部に上場する。
1972年12月 業務一体化のため本社組織を大東市へ移転する。
1994年 9月 ISO9001(国際品質保証規格)の認証を取得する。
2013年 7月 東京証券取引所と大阪証券取引所との現物市場の統合に伴い、東京証券取引所市場第二部に株式を上場。



2. 事業内容

1930年創業以来、船舶・発電・製鉄・化学プラント等バルブを中心とした**流体制御システム**を提供

20/5期 売上高 **18,639百万円**

船用
67.9%



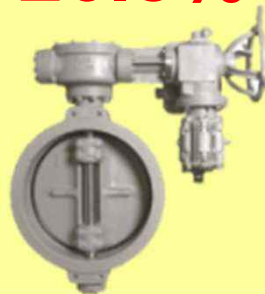
陸用
32.1%



遠隔操作装置
25.0%



バタフライ弁
26.8%



自動調節弁
48.2%



3. 製品

船用製品(自動調節弁・バタフライ弁・遠隔操作装置)

- ・流体制御システムとして遠隔操作装置、バタフライ弁、自動調節弁を一括納入
→ワンストップ・ソリューションを提供
- ・国内の船舶業界で高い評価を受け、業界トップシェア



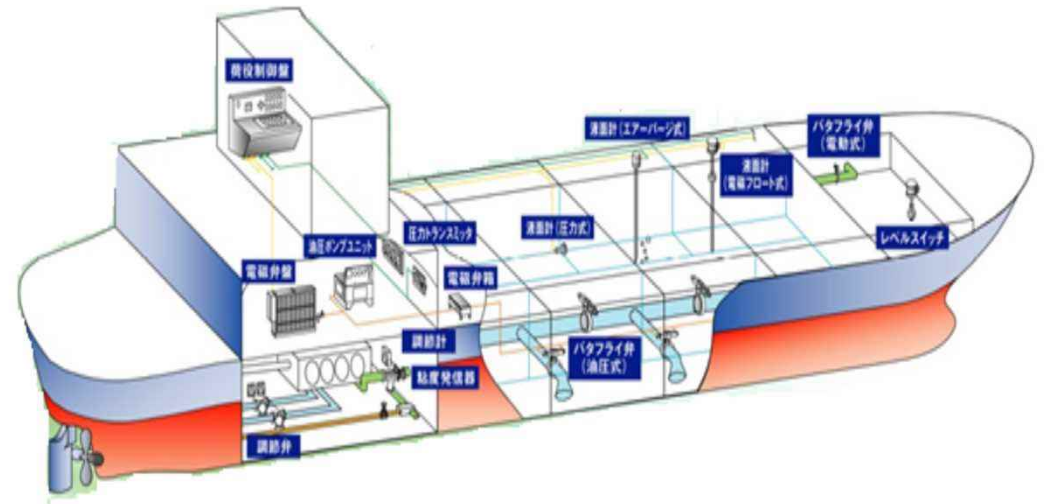
遠隔操作装置



バタフライ弁



自動調節弁

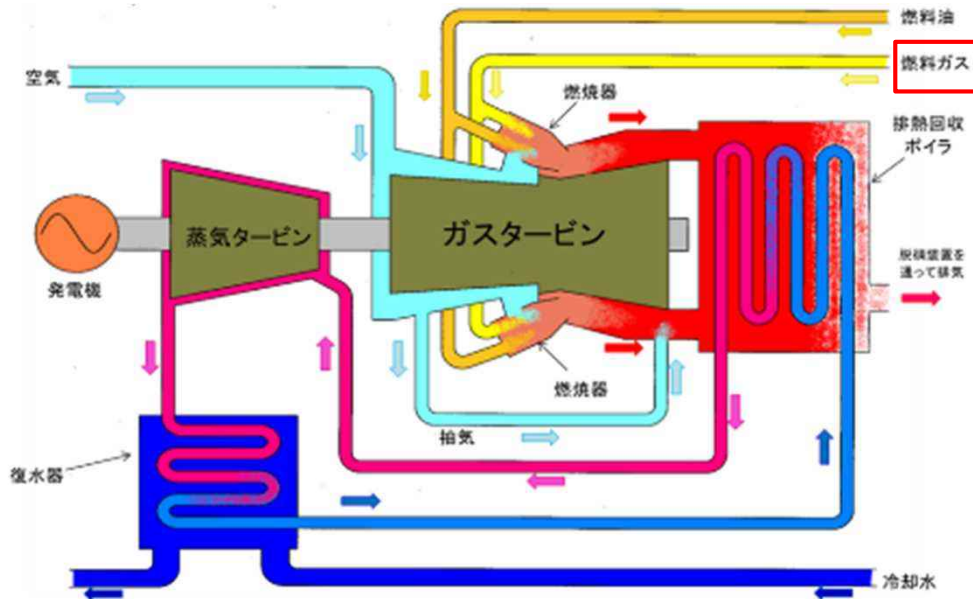


用途	品種
カーゴライン	バタフライ弁、遠隔操作装置
バラストライン	バタフライ弁、遠隔操作装置
機関室	自動調節弁

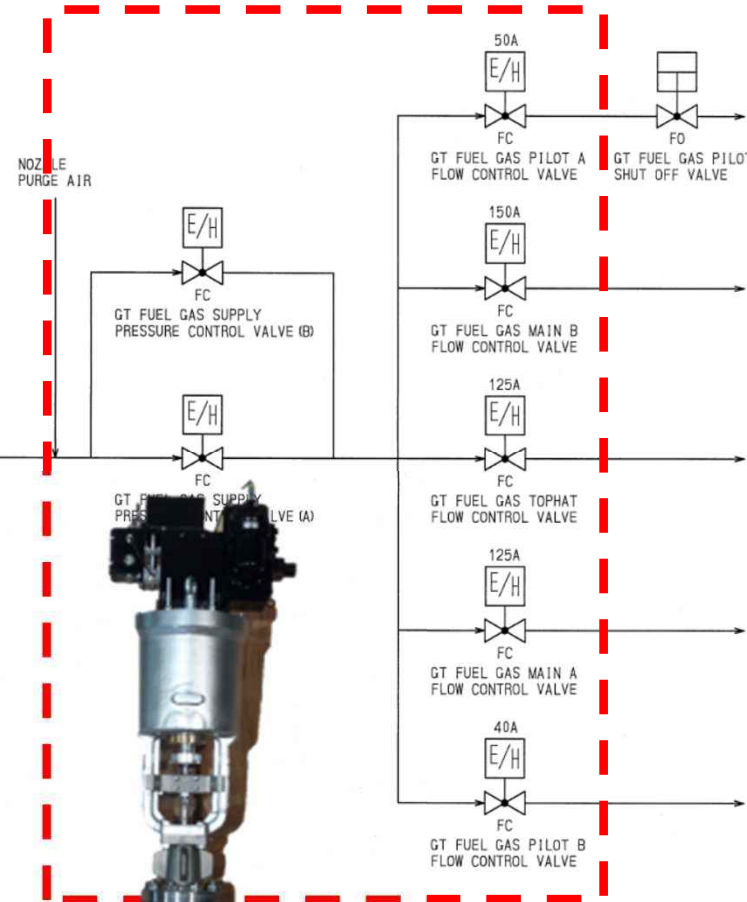
火力発電所用燃料ガス制御弁



- ・国内発電所に多数納入実績あり
- ・燃料ガスラインにて、精密な制御で火力発電の効率化に必要不可欠

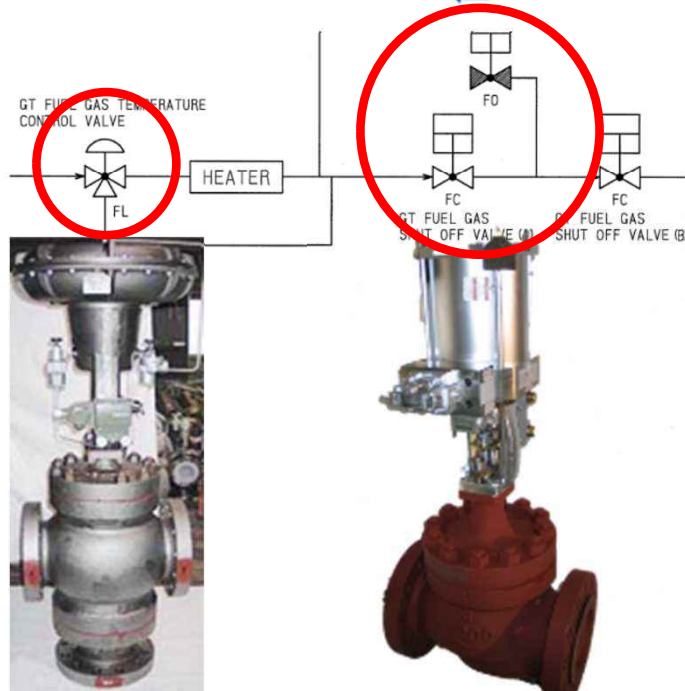


燃料ガスライン



ガスタービンへ

燃料ガス



燃料ガス温度制御弁

燃料ガス遮断弁

燃料ガス制御弁

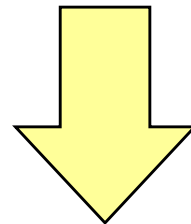
4. 品質保証

- ・顧客満足度を得るため、品質管理の仕組みや体制作りを行い、顧客に安心と信頼を提供する
- ・顧客ニーズ・期待・要求に製品が適合しているか各部門のプロセス・システムを管理し、品質を保証している

Safety 安全な環境 **Cost** 適切な価格
Quality 欠陥のない品質 **Delivery** 納期どおりの供給

認 証

認証機関(LRQA)による**ISO9001**認証
認証機関(LR)による**CEマーキング**認証
高圧ガス大臣認定試験者の認定
韓国ガス安全公社(KGS)より安全弁の製造の登録証明書取得
韓国KOSHAによる安全弁の**KCsマーク**認証
米国機械学会(ASME)による**安全弁V、UVスタンプ**認証

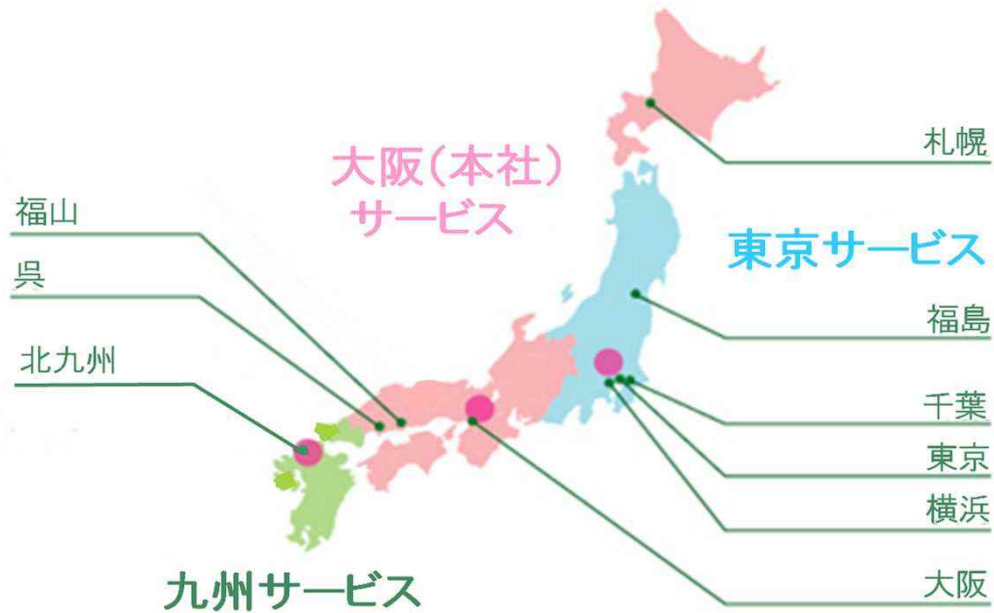


信頼されるものづくり企業



5. サービス網

国内サービス網



海外サービス網



- ・製品を熟知したサービススタッフや代理店で国内外の中北ネットワークを構築
- ・納入実績のデータベース化で長く安心して製品をご使用いただける体制を確立





6. 中北製作所の特徴と強み

船舶用バルブはハード面
からコントロールシステム
まで一括生産

技術サポート、メンテナンス
など製品ライフサイクルの
全てに対応

国内多数の発電所
に納入実績あり

進取発展

顧客のニーズに対応
した完全受注生産

Frontier Spirit

省エネ環境船や次世代高効率
発電システム等、急進する技術
革新に対処し、顧客ニーズに
即した製品開発

品質方針の運用で
多数の認証を保持し、
高度な品質管理体制
を確立



Ⅱ. 2020年5月期 実績



1. 概要

単位:百万円、%、円

	19/5	20/5	前年同期比		20/5 期初計画	期初計画比	
			増減	同率		増減	同率
売上高	19,084	18,639	▲444	▲2.3	17,500	1,139	6.5
営業利益	1,148	1,012	▲136	▲11.8	840	172	20.5
経常利益	1,325	1,178	▲147	▲11.1	1,010	168	16.7
当期純利益	907	741	▲166	▲18.3	700	41	6.0
1株当たり当期純利益	249.87	204.49			192.97		
1株当たり配当金	100.00	100.00			100.00		
総資産	26,542	27,745					
純資産	21,247	21,693					

- 海外船用関連のスポット案件の取込みやバラスト水処理装置の工事関連の受注が当初想定より上振れしたこともあり、売上高、利益面とも期初計画を上回った。
- 新型コロナウイルス感染症の売上高への影響は軽微であった。

2. 生産・受注・受注残の推移

生産高 単位:百万円、%

	19/5	20/5	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	8,341	8,792	451	5.4
バタフライ弁	5,318	4,890	▲ 428	▲ 8.1
遠隔操作装置	5,146	4,561	▲ 585	▲ 11.4
生産高合計	18,806	18,244	▲ 562	▲ 3.0

受注高

	19/5	20/5	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	9,173	8,625	▲ 547	▲ 6.0
バタフライ弁	5,612	5,503	▲ 108	▲ 1.9
遠隔操作装置	4,538	5,080	542	11.9
受注高合計	19,323	19,209	▲ 114	▲ 0.6

受注残

	19/5	20/5	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	4,141	3,783	▲ 358	▲ 8.6
バタフライ弁	3,678	4,186	507	13.8
遠隔操作装置	2,613	3,034	420	16.1
受注残合計	10,434	11,004	569	5.5

■生産高(前年同期比3.0%の減)

生産高は、自動調節弁が前年同期比5.4%増加したが、バタフライ弁が同8.1%、遠隔操作装置が同11.4%減少し、全体では同3.0%の減少となった。

■受注高(同0.6%の減)

遠隔操作装置は前年同期比11.9%増加したが、自動調節弁が同6.0%、バタフライ弁は同1.9%減少し、全体では同0.6%の減少となった。新型コロナウイルス感染症の影響は限定的で、受注高は概ね順調に推移した。

■受注残(同5.5%の増)

受注高は前期並みを維持し、売上高を上回ったため、受注残高は前年同期比5.5%の増加となった。

3. 部門別売上高

単位：百万円、%

	19/5	20/5	20/5		
			増減	同率	構成比
自動調節弁	8,464	8,983	518	6.1	48.2
バタフライ弁	5,397	4,996	▲ 401	▲ 7.4	26.8
遠隔操作装置	5,222	4,659	▲ 562	▲ 10.8	25.0
合計	19,084	18,639	▲ 444	▲ 2.3	100.0

単位：百万円、%

	19/5	構成比	20/5			
			増減	同率	構成比	
陸用	5,662	29.7	5,977	315	5.6	32.1
船用	13,422	70.3	12,662	▲ 760	▲ 5.7	67.9
合計	19,084	100.0	18,639	▲ 444	▲ 2.3	100.0

- 売上高は、陸用が前年同期を上回り、自動調節弁は前年同期比6.1%増加したが、タンカー向け製品減少の影響により、バタフライ弁は同7.4%、遠隔操作装置が同10.8%と減少し、全体では同2.3%減少となった。
- 陸用は前年同期に比べ、315百万円増加(前年同期比5.6%増)したが、船用は760百万円減少(同5.7%減)し、全体では444百万円減少(同2.3%減)となった。



4. 地域別売上高

単位：百万円、%

	19/5	20/5	20/5		
			増減	同率	構成比
国内 ※	16,476	15,815	▲ 660	▲ 4.0	84.8
韓国 ※	1,138	725	▲ 412	▲ 36.3	3.9
中国(香港)	886	1,543	657	74.2	8.3
その他	583	554	▲ 28	▲ 4.9	3.0
合計	19,084	18,639	▲ 444	▲ 2.3	100.0
輸出比率	13.7	15.2	1.5		

- 中国向けは、船用・陸用とも前年を上回り、前年同期比74.2%増加となった。
- タンカー向け製品が減少した影響を受け、国内向けは、前年同期比4.0%、韓国向けは、同36.3%、その他は4.9%の減少となった。
- 輸出比率は15.2%で1.5ポイントの増加。

※当事業年度より社内管理との整合性を図るため、前事業年度まで「国内」に集計し表示しておりましたが顧客の一部を当事業年度より「韓国」として集計し表示しております。なお、前事業年度については、変更後の分類に組み替えて表示しております。



5. 損益計算書

単位:百万円、%

	19/5		20/5			
		構成比		増減	同率	構成比
売上高	19,084	100.0	18,639	▲ 444	▲ 2.3	100.0
売上原価	16,054	84.1	15,633	▲ 421	▲ 2.6	83.9
売上総利益	3,029	15.9	3,006	▲ 23	▲ 0.8	16.1
販売費・一般管理費	1,881	9.9	1,993	112	6.0	10.7
営業利益	1,148	6.0	1,012	▲ 136	▲ 11.8	5.4
営業外損益	177	0.9	166	▲ 11	▲ 6.2	0.9
経常利益	1,325	7.0	1,178	▲ 147	▲ 11.1	6.3
特別損益	-	-	97	97	-	0.5
税引前当期純利益	1,325	7.0	1,081	▲ 244	▲ 18.4	5.8
法人税等	418	2.2	339	▲ 78	▲ 18.7	1.8
当期純利益	907	4.8	741	▲ 166	▲ 18.3	4.0

■売上高は、対前年同期比2.3%の減少。

■利益面に関しては、タンカー向け製品減少の影響もあり、営業利益は対前年同期比11.8%、経常利益は同11.1%、当期純利益は同18.3%の減少となった。



6. 貸借対照表

単位: 百万円

	19/5	20/5	増減	主要増減要因
流動資産合計	21,130	20,887	▲ 242	
現金・預金	7,279	4,793	▲ 2,486	
売上債権	7,823	8,655	832	船用向け一部顧客下期売上増加による影響
棚卸資産	3,842	3,717	▲ 124	
その他	2,185	3,721	1,535	短期運用 1,503
固定資産合計	5,412	6,857	1,445	
有形固定資産	3,083	3,356	272	減価償却 261 投資 533
無形固定資産	49	49	0	
投資その他の資産	2,278	3,451	1,173	長期運用 1,161
資産合計	26,542	27,745	1,202	
流動負債合計	5,002	5,362	359	
仕入債務	3,195	3,582	387	5/31休日→6/1期日到来分 336
その他	1,807	1,779	▲ 28	
固定負債合計	292	689	396	長期借入 400
負債合計	5,295	6,051	756	
純資産合計	21,247	21,693	446	
負債・純資産合計	26,542	27,745	1,202	



Ⅲ. 2021年5月期見通し



1. 概要

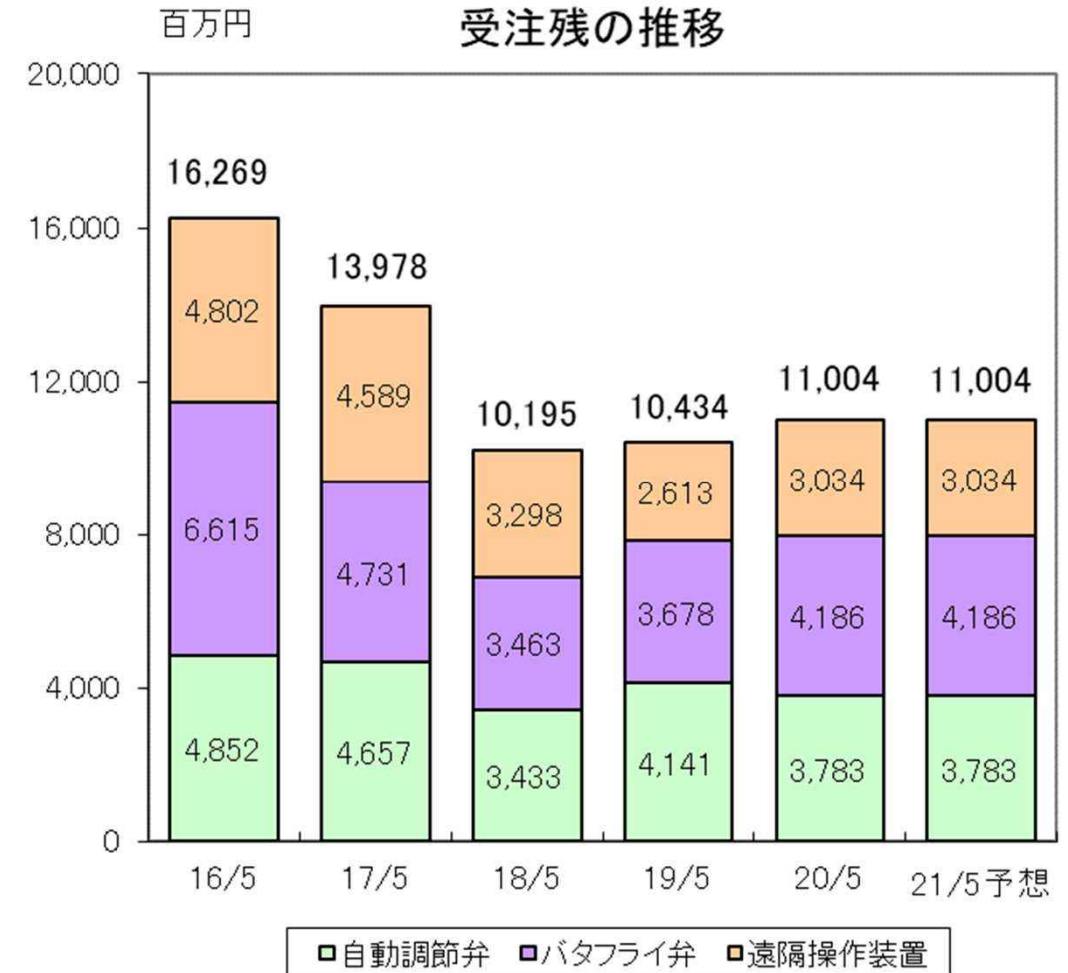
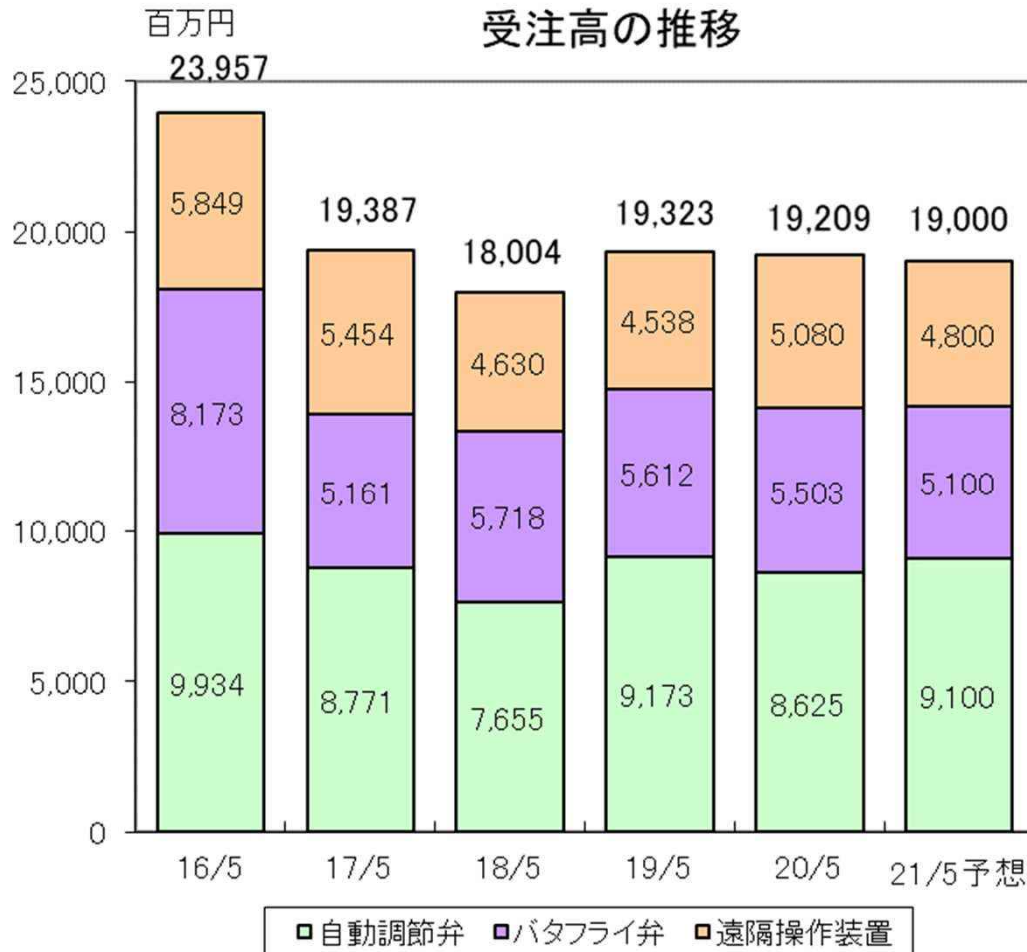
見込み

単位:百万円、%、円

	20/5	21/5	前年同期比	
			増減	同率
			売上高	18,639
営業利益	1,012	1,130	117	11.6
経常利益	1,178	1,290	111	9.4
当期純利益	741	890	148	20.0
1株当たり当期純利益	204.49	245.35		
1株当たり配当金	100.00	100.00		

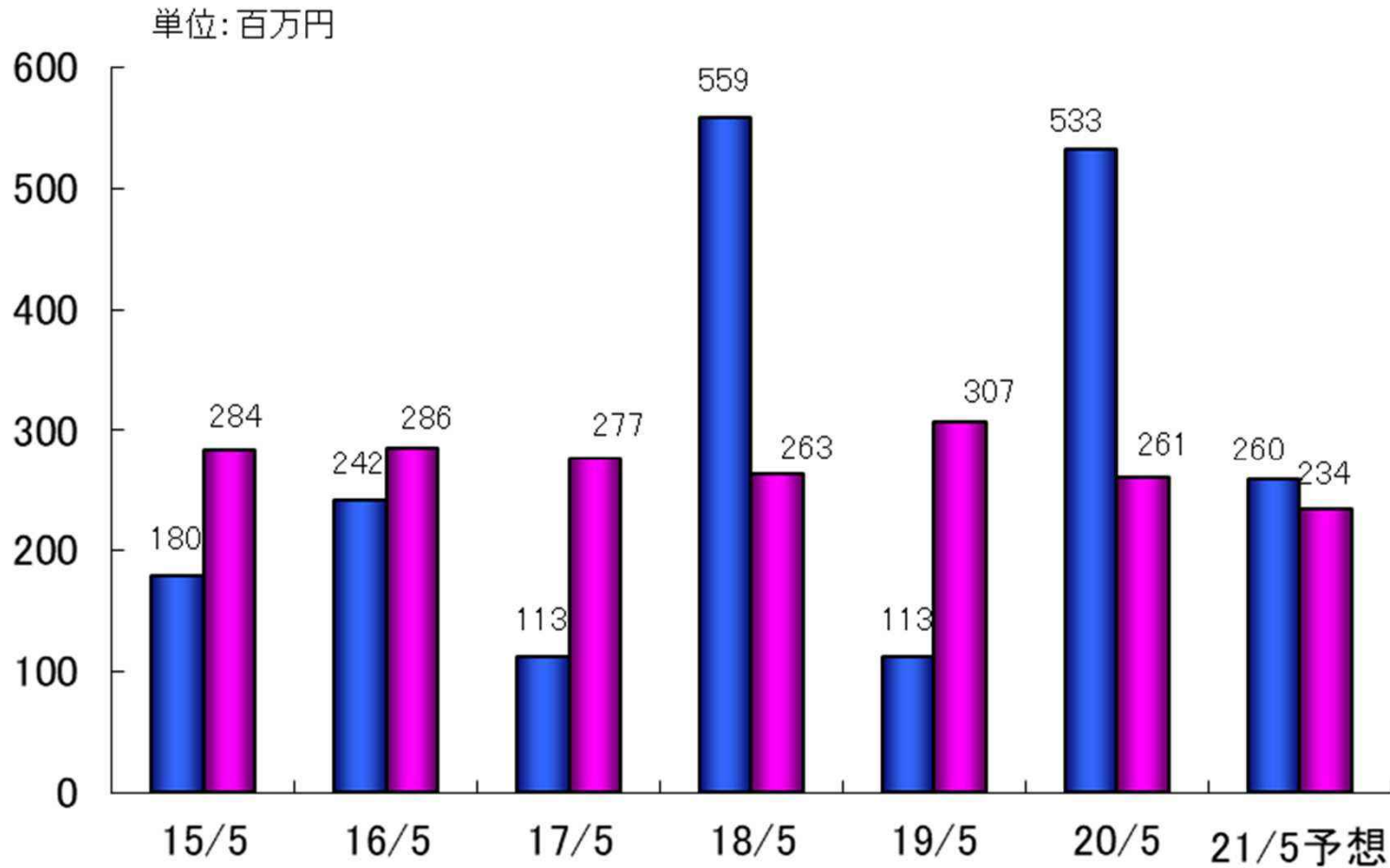
- 売上高は190億円(前年同期比1.9%増)の目標。
- 利益についても、若干の増益の計画とした。

2. 受注・受注残の見通し



■ 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、受注環境は厳しい状況にあるが、メンテナンス関連の受注獲得にも注力し、受注高190億を目指す。

3. 設備投資と減価償却費の見通し



... 設備投資
 ... 減価償却費



IV. 今後の展望

1. トピックス

(1) ロボットハンドの組立アシストへの適用

人協働ロボットを組立作業に導入



① 作業者が組立作業中に



② ロボットが部品を判別し



③ 作業の手を止めずに受け取れる

ロボットに部品のピッキングをさせることにより、作業者は組立作業に専念できる

組立生産性の向上

1. トピックス(つづき)

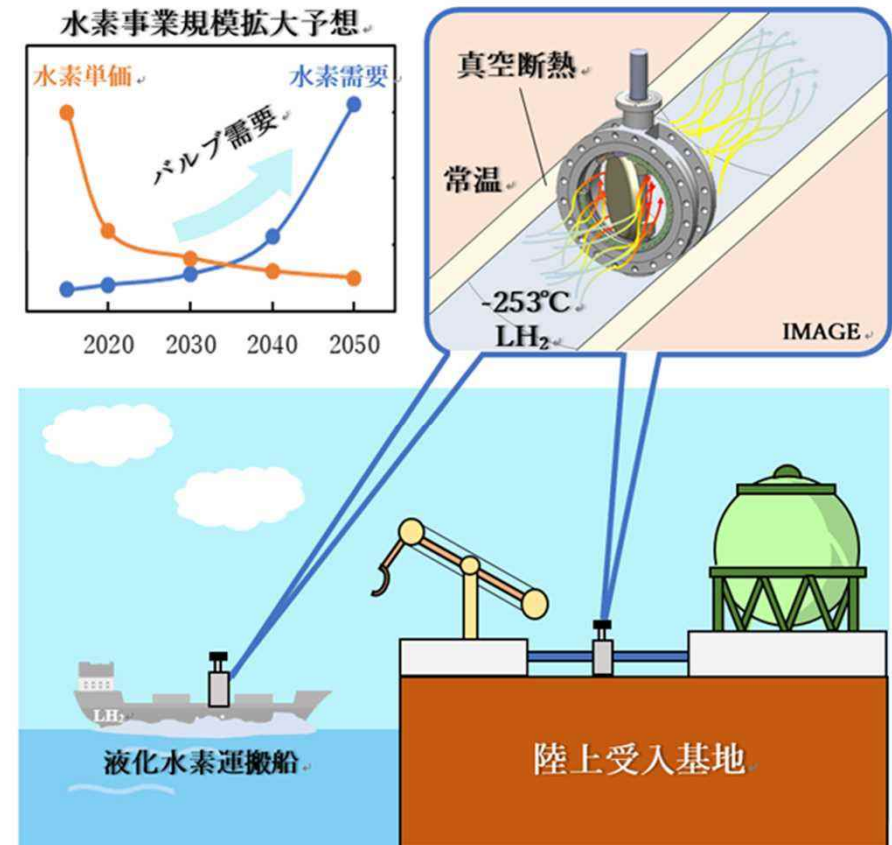
(2) NEDO(国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)の
水素社会構築技術開発事業に採択されました。

技術開発の目的

- ・来るべき水素社会での**液体水素需要**において、貯蔵、運搬等の水素サプライチェーン構築に伴う、液化水素用バタフライバルブの**大型化に向けた**技術開発を目的とする。

技術開発の概要

- ・極低温領域における**シール構造**の開発
- ・メンテナンスホールを持つ高い**真空断熱構造**の開発
- ・シール構造と真空断熱構造の**解析モデルの構築と評価**





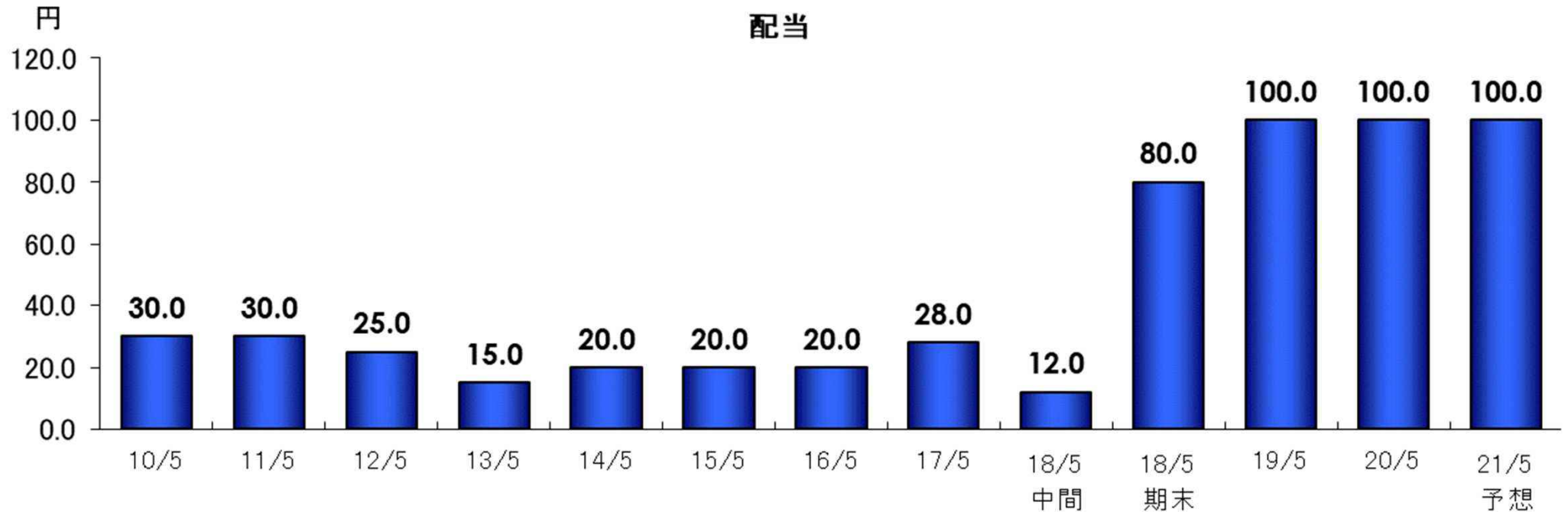
2. 今後の取組み～

1. AI、IT、デジタル技術や理論・手法を使った業務改善・業務改革
2. 新工場に向けた新しい取組みの推進
3. コロナ対策の確実な実施と、アフターコロナに向けた準備
4. 進取発展の再スタート





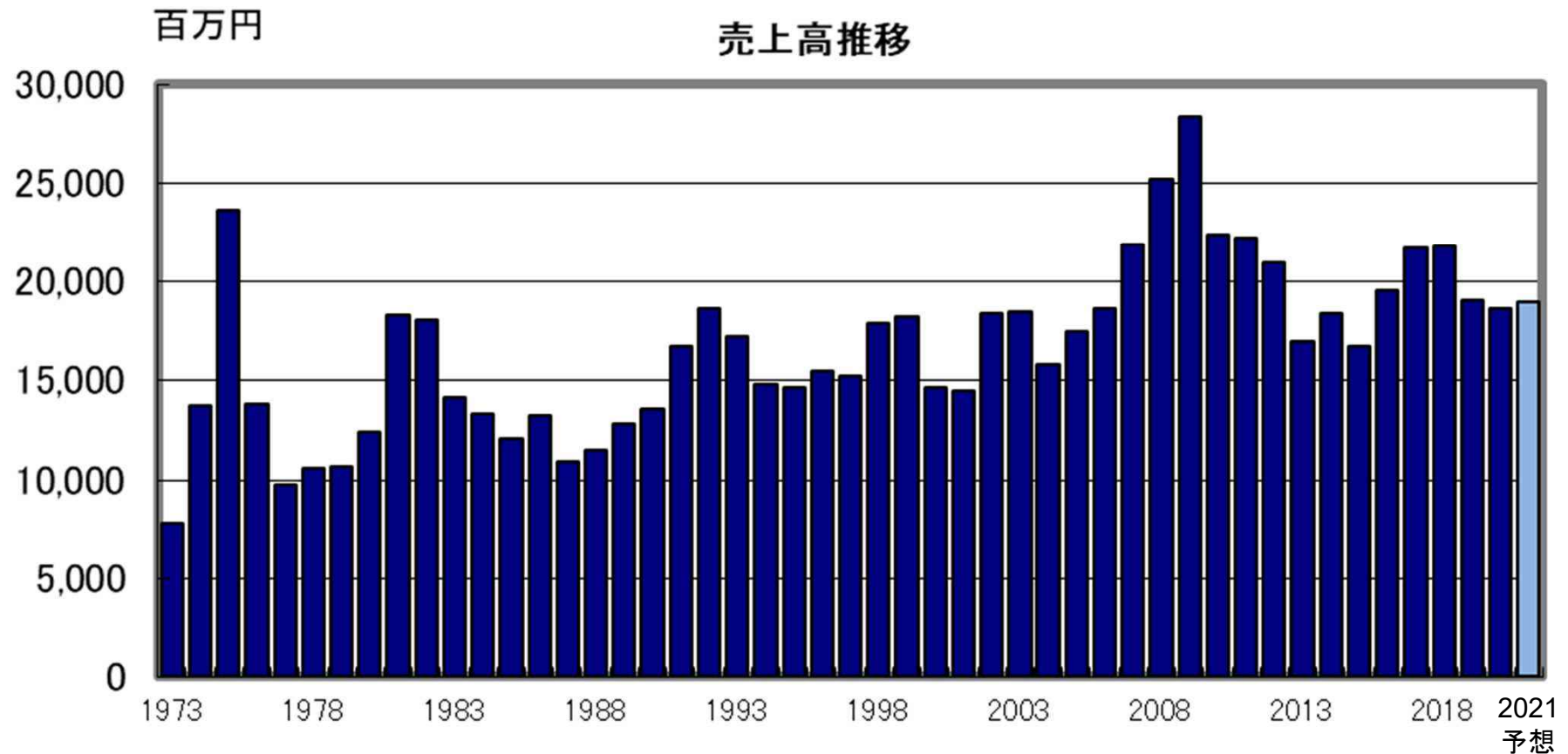
3. 配当実績・予想



※ 当社は、2017年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。
18/5期末以後の1株当たり配当金につきましては、当該株式併合後の金額を記載しております。

4. まとめ

■国内の景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあります。今後については予断を許さない状況ではありますが、現時点で新型コロナウイルス感染症による当社の事業活動への影響は限定的であります。受注環境も厳しい状況ではありますが、積極的に受注獲得に努め、生産性向上に関する改革・改善に継続して取り組んでまいります。





V. コーポレート・データ



※1

単位:百万円、%、円

	16/5	17/5	18/5	19/5	20/5	21/5予想
売上高	19,536	21,678	21,788	19,084	18,639	19,000
営業利益	1,121	1,613	1,683	1,148	1,012	1,130
営業利益率	5.7	7.4	7.7	6.0	5.4	5.9
経常利益	1,274	1,774	1,853	1,325	1,178	1,290
経常利益率	6.5	8.2	8.5	6.9	6.3	6.8
当期純利益	846	1,203	1,265	907	741	890
当期純利益率	4.3	5.6	5.8	4.8	4.0	4.7
総資産	26,621	26,312	27,352	26,542	27,745	
株主資本	19,241	20,075	20,710	21,022	21,401	
株主資本比率	72.3	76.3	75.7	79.2	77.1	
株主資本利益率	4.4	6.0	6.1	4.3	3.5	
1株当たり当期純利益 ※2	225.87	326.22	344.02	249.87	204.49	245.35
1株当たり配当金	20.00	28.00	※3 —	100.00	100.00	100.00

※1 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を19/5期の期首から適用しており、16/5期から18/5期に係る経営指標等については、当該会計基準を遡って適用した後の指標等となっております。

※2 当社は、2017年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。16/5期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

※3 当社は、2017年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。18/5期における年間の1株当たり配当金は「—」として記載しております。18/5期の1株当たり中間配当金は12.00円、当該株式併合の影響を受け、18/5期の1株当たり期末配当金は、80.00円となります。なお、株式併合後の基準で換算した場合、1株当たり中間配当金は60.00円となるため、18/5期における年間の1株当たり配当金は140.00円となります。



単位:百万円

陸船別売上	16/5	17/5	18/5	19/5	20/5	21/5予想
陸用売上	4,893	5,580	5,536	5,662	5,977	6,100
船用売上	14,643	16,097	16,252	13,422	12,662	12,900
合計	19,536	21,678	21,788	19,084	18,639	19,000

品種別売上	16/5	17/5	18/5	19/5	20/5	21/5予想
自動調節弁	9,211	8,965	8,880	8,464	8,983	9,100
バタフライ弁	5,352	7,045	6,985	5,397	4,996	5,100
遠隔操作装置	4,973	5,667	5,922	5,222	4,659	4,800
合計	19,536	21,678	21,788	19,084	18,639	19,000

生産	16/5	17/5	18/5	19/5	20/5	21/5予想
自動調節弁	9,176	8,937	8,762	8,341	8,792	9,100
バタフライ弁	5,332	7,022	6,893	5,318	4,890	5,100
遠隔操作装置	4,954	5,648	5,844	5,146	4,561	4,800
合計	19,463	21,608	21,500	18,806	18,244	19,000

受注	16/5	17/5	18/5	19/5	20/5	21/5予想
自動調節弁	9,934	8,771	7,655	9,173	8,625	9,100
バタフライ弁	8,173	5,161	5,718	5,612	5,503	5,100
遠隔操作装置	5,849	5,454	4,630	4,538	5,080	4,800
合計	23,957	19,387	18,004	19,323	19,209	19,000

受注残	16/5	17/5	18/5	19/5	20/5	21/5予想
自動調節弁	4,852	4,657	3,433	4,141	3,783	3,783
バタフライ弁	6,615	4,731	3,463	3,678	4,186	4,186
遠隔操作装置	4,802	4,589	3,298	2,613	3,034	3,034
合計	16,269	13,978	10,195	10,434	11,004	11,004

・本資料は、ご参考のために株式会社中北製作所が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、株式会社中北製作所はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社中北製作所に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。